

鹿瀬工場はなぜ建設されたのだろう？

流れ① 工場の建設



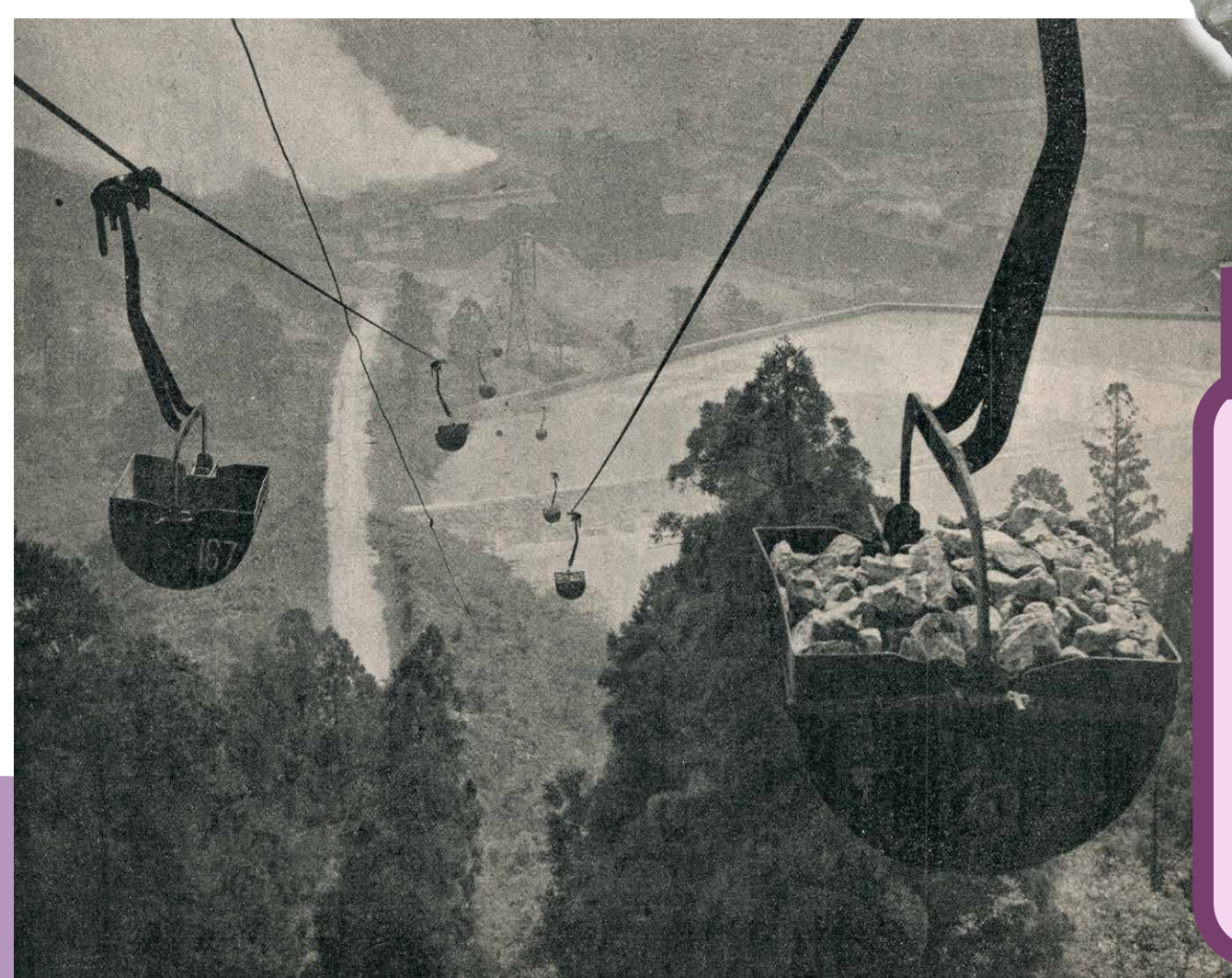
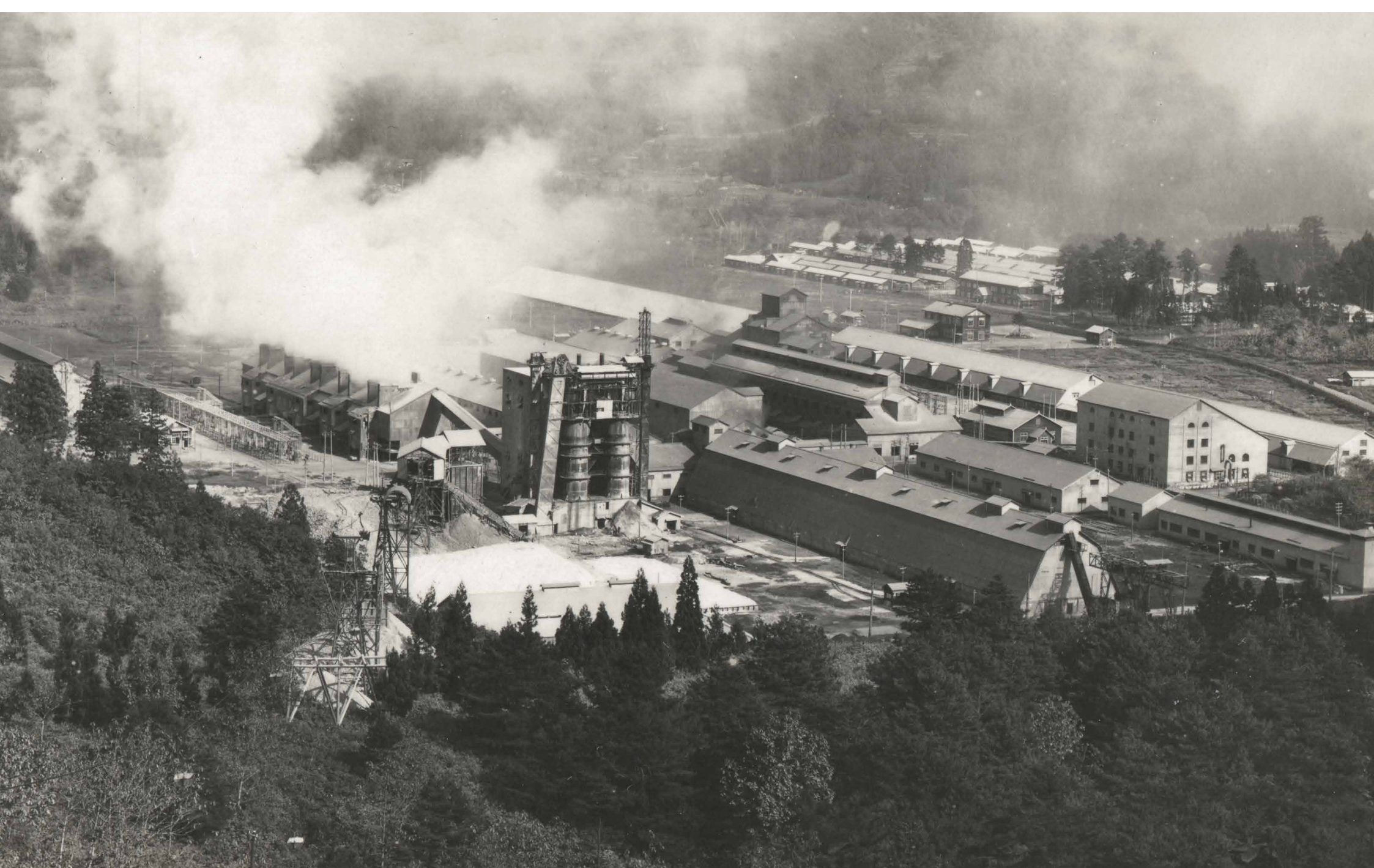
あま けん せつ
余った電氣を使うために建設された工場

1928（昭和3）年に、発電用に建てられた鹿瀬ダムは、完成した当時、電気が売れずに困っていました。

この余ってしまったダムの電気を使うため、1929（昭和4）年に鹿瀬ダムのすぐ近くに建設された工場が、昭和電工（株）鹿瀬工場でした。鹿瀬工場は、阿賀野川上流の山々から採れる石灰岩と、余った電気を組み合わせて、ある製品を生産し始めました。

▼^{せい ひん}製品の生産^{せい さん}を開始したばかりの鹿瀬工場^{かの せ} 写真所蔵：由辺修一郎氏

▶ ^{せっ} ^{かい} ^{がん} 石灰岩 (^{せっ} ^{かい} ^{せき} 石灰石)



Q パネル18をチェック!

せつ かい がん
石灰岩と電気を
組み合わせると
どんな製品が
できるのかな？

▲空中ケーブルで工場に 運ばれる^{せつ かい がん}石灰岩

出典：「しやう げん鹿瀬工場しやう げんタイムス」(しやう げん とう昭和電工株)